

1 単元名 「秋を楽しもう」

2 単元設定の理由

本グループは7名で構成されている。学習に対する取り組みの実態は、発問や指示の理解においては個別の支援を必要とする児童もいるが、7名とも学習に対する意欲が高い。また、集中することが難しいこともあるが、何事においても積極的に活動に取り組むことができている。四季に関しては、今年度の生活単元学習において春・梅雨・夏の学習に取り組んできており、ほとんどの児童が季節の学習に興味関心をもつようになってきている。しかし、季節の大まかな特徴が分かる児童もいるが、まだ季節のイメージをつかめていない児童もいる。

本単元では、季節の中の「秋」を取り上げて学習に取り組む。身近な自然との触れ合いを通して季節の学習をすることで、季節によって自分を取り巻く自然環境や食べ物等生活の様子が変わることを知り、さらに季節に応じた遊び等生活する上での楽しみを増やすことができるのではないかと考える。

校庭で木の葉の色づきを見たり、ドングリ等の木の実やトンボ等秋の生き物を探したりすることで、秋の特徴を感じられるようにしたい。さらに、自分たちで拾った木の実や落ち葉等の自然を使って遊ぶことで、生活をより豊かなものにしてほしい。また、木の葉やドングリ、トンボ等は校庭だけではなく、児童の自宅周辺や家族との外出の際でも見ることができる、とても身近なものである。これらを教材とすることで、学校での学習時だけではなく、日常の生活全体を通して季節の変化をより身近に感じられるだろうと考える。

3 全体目標

ねらい	学習指導要領	キャリア発達
○木の実や虫を見つけ、秋の特徴が大まかに分かる。	生活2段階（10）	課題対応能力
○秋の自然を利用した遊びの面白さに気づき、楽しみながら遊ぶことができる。	生活3段階（10）	人間関係形成・社会形成能力 キャリアプランニング能力

4 実態と目標

氏名	実態	個別目標
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の名前が分かり、それぞれの季節の特徴が大まかに分かる。</li> <li>個別の支援は必要だが、指示や発問の内容を大まかに理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドングリ等、木の実が木になっていることが分かる。</li> <li>秋の自然を使った遊びの楽しさが分かり、積極的に遊ぶことができる。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の名前は覚えつつあり、自信があれば答えることができる。</li> <li>全体に対する指示や発問をおおよそ理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「秋」の特徴が分かり、イラストや写真を手掛かりにして、ドングリ等身近な秋の自然に関する名前を自分から言うことができる。</li> <li>秋の自然を使った遊びの楽しさが分かり、友達と協力して作ったり、一緒に遊んだりすることができる。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の名前が分かり、それぞれの季節の大まかな特徴が分かりつつある。</li> <li>簡単なものであれば全体に対する指示や発問を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「秋」の自然に関する名前が分かり、自分なりの言葉で説明することができる。</li> <li>秋の自然を使った遊びの楽しさが分かり、積極的に遊ぶことができる。</li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から答えることは難しいが季節の名前が分かりつつある。</li> <li>自分から行動に移すことは難しいが、簡単な指示や発問を個別に行うことで理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別に言葉かけを行うことで、イラストや写真を手掛かりにして、ドングリ等身近な秋の自然に関する名前を言うことができる。</li> <li>秋の自然を使ったおもちゃの遊び方が分かり、遊ぶことができる。</li> </ul>
E	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の名前を覚えつつある。</li> <li>簡単で慣れている指示や発問であれば自信をもって行動、回答することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イラストや写真を手掛かりにすることで、ドングリ等、身近な秋の自然の名前が分かり、言うことができる。</li> <li>秋の自然を使ったおもちゃ等で友達と一緒に遊ぶことができる。</li> </ul>

F	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の名前が分かり、それぞれの季節の特徴が大まかに分かる。</li> <li>・気分が高揚してしまうと、指示や発問の理解が難しくなるが、落ち着いていれば理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「秋」の特徴が分かり、簡単な質問に答えることができる。</li> <li>・秋の自然を使った遊びの楽しさが分かり工夫して遊ぶことができる。</li> </ul>
G	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の名前が分かり、それぞれの季節の大まかな特徴が分かりつつある。</li> <li>・全体に対する指示や発問を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「秋」の大まかな特徴が分かり、複数のイラストや写真から「秋」を選ぶことができる。</li> <li>・秋の自然を使った遊びの楽しさが分かり、友達と一緒に遊ぶことができる。</li> </ul>

## 5 授業計画（7時間扱い）

- 第1次：秋について知ろう・・・・・・・・・・・・・1時間
- 第2次：秋を探そう・・・・・・・・・・・・・1時間
- 第3次：秋を食べよう・・・・・・・・・・・・・2時間
- 第4次：秋で遊ぼう・・・・・・・・・・・・・3時間（本時は第2時）

## 6 本時の学習内容

### (1) 目標

- ・ドングリ等、木の実が木になっていることや木の葉の色が赤や黄色になっているという秋の木の特徴が分かり、絵をかいたり写真を切ったりして木の模型にはり付けることができる。
- ・ドングリ等の身近な自然を使ったおもちゃ等の楽しさが分かり、遊ぶことができる。

### (2) 準備物・資料

- 全体：ホワイトボードマーカー学習内容カード模擬時計木の模型イラスト、写真  
新聞紙のり紙落ち葉・ドングリおもちゃ見本前時に作ったおもちゃ  
セロハンテープや紙コップ等の道具、材料

児童：机，イス，お道具箱，筆入れ

### (3) 展開

時間	学習内容及び活動	指導の留意点と手立て<評>評価	予想される児童の反応と支援
9:35	1 学習内容を知る。 (学習形態①)  (1) あいさつをする。  (2) 前時の学習を振り返り、本時の学習内容について知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これから行う学習内容について見通しをもつことができるように、ホワイトボードに本時の学習内容カードを提示する。</li> <li>・あいさつをすることで、休み時間と授業の区切りを意識できるようにする。</li> <li>・本時は前時の続きを行うことを児童が思い出せるように質問をする。児童から出てこない時は、木の模型(秋の木)を提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AやDが机やお道具箱をどうしたらよいか迷っていたら、「みんなどうしてるかな」等やることに気づけるようにT2が個別に言葉かけをする。</li> </ul>
9:40	2 秋についてまとめる。 (1) 秋の木について確認する。 (2) 前時に作った「秋の木」を見て、本時で作る部分を選ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の木の实や葉の色を思い出すことができるように言葉かけをしたり、実物やイラストを提示したりする。</li> <li>・木の模型(秋の木)を提示し、「ここはたくさんあるけど、そこはさみしいね」等言葉かけをすることで、未完成の部分の中から選ぶことができるように支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DやEが集中するのが難しい時は、T2が個別に「あれは何か」等言葉かけをし、実物やイラストに注目できるようにする。また、その名前を答えることが難しい時は、頭文字を伝えることで名前を思い出しやすくする。</li> </ul>

	<p>(3) 秋の木の実を絵にかいたり、イラストを切ったりして木の模型にはりつける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が描きやすいように、秋の木の実のイラストや実物を提示する。</li> <li>・実物やイラストとクレヨンを見比べるように支援することで、より近い色のクレヨンを選ぶことができるようする。</li> <li>・必要なもの以外は机にしまうようにすることで、行う活動を分かりやすくする。</li> <li>・模擬時計で活動の終わり時間を示す。(9:55)</li> <li>・T2はDやEを中心に支援をする。</li> </ul> <p>&lt;評&gt;絵をかいたり写真をはったりして「秋の木」を作る活動に取り組むことができたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Aが絵ではなく、平仮名で書こうとする時は、周りの友達のかいているものに注目するように言葉かけを行う。</li> <li>・Cが、友達が見ているイラストを自分の手元に置きたい時は、「貸して」を言うことができるように支援する。</li> </ul>
9:55	<p>(4) 道具の片付けやゴミ拾いをして、机をはじに寄せる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次は前時に作ったおもちゃで遊ぶことを伝え、遊ぶスペースを作るために机をどうしたらいいか児童が考えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BやGが自分の片付けを早く終わらせていたら、友達の手伝いをできるように、「〇〇さん、まだ片付けしているね。」等と投げかける。</li> </ul>
10:00	<p>3 秋の自然で遊ぶ。 (学習形態②)</p> <p>(1) 好きな遊びを選ぶ。</p> <p>(2) 遊んだり作ったりする。</p> <p>(3) 片付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬時計で活動の終わり時間を示す。(10:15)</li> <li>・机におもちゃ等を並べ、児童が好きなものを選ぶことができるようにする。</li> <li>・T2はT1が説明している間にセロハンテープ等の道具や材料を準備する。</li> <li>・遊び方が分からない児童には手を取って一緒に行うことで分かりやすくする。</li> <li>・児童が自分なりに工夫して遊ぶことができた時は、周りの友達にも伝える。</li> <li>・児童同士で遊ぶことができるように、「〇〇さんを見てみようか」等、友達を意識できるような言葉かけを行う。</li> </ul> <p>&lt;評&gt;秋の自然を使ったおもちゃ等の遊び方が分かり、遊ぶことができたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Aが友達の様子を見ているだけの場合は、一緒に遊ぶように提案したり、遊び方を伝えたりする。</li> <li>・Fの気分が高揚している場合は転んだりぶつかったりすることを防ぐために、他の遊びをするように促したり、言葉かけをすることで落ち着くことができるようにする。</li> </ul>
10:15	<p>4 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 「秋の木」の出来あがりを確認する。</p> <p>(2) 次時について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボードが見える場所に座るよう支援する。</li> <li>・次時へ意欲をもつことができるように、「秋の木」の発表をすることを伝える。</li> </ul>	
10:20	<p>(3) あいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の机を各教室に戻す時、2組はロッカー側の、3組は黒板側の出入り口側から出るようにする。</li> </ul>	

## 7 評価について

### (1) 児童の評価

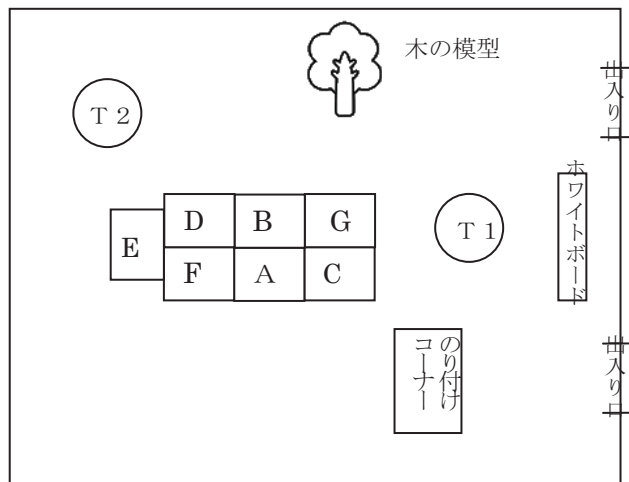
- ・秋の木の特徴を意識して、それらを文字や絵にかいたり写真をはったりする等、自分なりの方法で活動に取り組むことができたか。
- ・秋の自然を使った遊び方が分かり、遊ぶことができていたか。

(2) 授業者の評価

- ・グループ分けは適切だったか。
- ・教員同士の共通理解を図り、役割を分担することができていたか。
- ・児童たちが積極的に活動に取り組むための支援を行うことができていたか。
- ・活動内容、学習形態は適切だったか。

8 学習形態

学習形態①



学習形態②

